

平成21年度決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成21年度（第5期）
決算についてお知らせします。

平成21年度決算について

個 別 決 算

- ・ 事 業 報 告
- ・ 貸 借 対 照 表
- ・ 損 益 計 算 書
- ・ 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
- ・ 個 別 注 記 表
- ・ 附 属 明 細 書

連 結 決 算

- ・ 連 結 貸 借 対 照 表
- ・ 連 結 損 益 計 算 書
- ・ 連 結 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
- ・ 連 結 注 記 表

平成22年6月11日
本州四国連絡高速道路株式会社

平成21年度決算について

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

個別決算の概要

高速道路事業と関連事業を合わせた全事業において、営業収益612億円に対し、営業費用607億円となり、営業利益は4億円となりました。これに営業外収益と営業外費用を加減した経常利益は5億円となり、特別利益3億円を加え法人税などを差し引いた当期純利益は3億円となりました。

損益計算書

(単位：億円)

区 分	平成21年度	平成20年度	増(△)減	前年 同期比 (%)	(参考) ^{※2} 平成21年度 事業計画
営業収益	612	799	△187	△ 23.4	648
高速道路事業	591	779	△188	△ 24.1	623
料金収入	535	※1 (736)	(△200)	(△ 27.2)	561
道路資産完成高	53	41	12	30.6	62
その他の売上高	1	※1 9	△ 7	△ 84.4	-
関連事業	21	20	0.7	3.6	25
うち休憩所等事業	3	3	0.2	6.1	4
営業費用	607	784	△176	△ 22.5	646
高速道路事業	587	765	△177	△ 23.2	622
道路資産賃借料	358	537	△178	△ 33.2	360
道路資産完成原価	53	41	12	30.6	62
管理費用	175	186	△ 11	△ 6.1	200
関連事業	20	18	1	5.4	24
うち休憩所等事業	2	2	0.3	15.0	3
営業利益	4	15	△ 10	△ 71.4	2
高速道路事業	3	13	△ 10	△ 76.2	1.3
関連事業	1	1	△ 0.2	△ 21.5	0.7
うち休憩所等事業	0.8	0.9	△ 0.1	△ 17.1	0.3
経常利益	5	17	△ 11	△ 67.1	0.7
特別利益	3	1	1	135.5	-
当期純利益	3	10	△ 6	△ 60.4	※3 0.4

※1 平成20年度のその他の売上高には、料金割引社会実験に伴う国からの負担金収入7億円を含んでいません。料金収入の上段()書きは当該負担金収入を含めた額です。

※2 事業計画は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定を反映した計数となっています。

※3 事業計画の当期純利益は関連事業に係るもので、高速道路事業においては当期純利益を見込んでいません。

高速道路事業

- 当期の本四道路の通行台数※₁は37百万台と対前年同期比で20.6%増、料金収入は535億円と対前年同期比で27.2%減※₂となりました。
- 利便増進計画による割引として、大幅な料金割引を実施しました。
- 企画割引について、「与島PA Uターン割引」、「しまなみ悠遊プラン」等を実施しました。
- ETC利用率は平成22年3月で89.0%となり、平成21年3月と比較し8.6ポイントの増加となりました。
- 主な工事として、長大橋塗替塗装工事、橋梁耐震補強工事及び舗装補修工事を実施しました。
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「機構」という。）に対する道路資産賃借料は358億円となりました。
- 以上の結果、料金収入及び機構へ引き渡した資産の売上である道路資産完成高などの営業収益591億円に対し、道路資産賃借料、道路資産完成原価及び道路の管理費用の営業費用が587億円となり、営業利益は3億円となりました。

※₁ 出口の年累計交通量

※₂ 料金収入の対前年同期比算出にあたって、前年同期の料金収入は料金割引社会実験に伴う負担金収入を含めた額としています。

関連事業

- 休憩所等事業については、お客様に、より快適に、より楽しくご利用いただくために、サービスエリア・パーキングエリアの施設のリニューアルを実施しました。
- 受託事業については、地方公共団体等からの長大橋に関する施工検討業務・技術支援業務、国からの生口島道路・大島道路の道路管理業務、接続する他の高速道路会社からの料金收受業務・道路管理業務及び機構からの本四淡路線・本四備讃線(鉄道施設)の維持管理業務等を受託しました。
- 以上の結果、営業収益21億円に対し、営業費用が20億円となり、営業利益が1億円となりました。

貸借対照表

(単位：億円)

区 分	平成21年度	平成20年度	増(△)減
資 産	383	411	△ 27
流動資産	167	184	△ 17
固定資産	216	226	△ 9
負 債	259	290	△ 31
流動負債	76	98	△ 21
固定負債	182	192	△ 10
純資産	124	120	3
株主資本	124	120	3
資本金	40	40	-
資本剰余金	40	40	-
利益剰余金	44	40	3
(負債・純資産合計)	383	411	△ 27

資産の状況

資産の総額は383億円であり、このうち流動資産は167億円、固定資産は216億円となっています。固定資産は、料金収受機械設備等の高速道路事業固定資産、サービスエリア・パーキングエリアの土地及び建物等の関連事業固定資産が主なものとなっています。

負債及び純資産の状況

負債の総額は259億円であり、このうち流動負債は76億円、固定負債は182億円となっています。

純資産の総額は124億円であり、資本金、資本剰余金、利益剰余金の合計となっています。

連結決算の概要

連結対象

次の子会社3社を連結対象としています。

会社名	主要な事業内容
JBハイウェイサービス株式会社	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
株式会社ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕
JBトールシステム株式会社	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

連結損益計算書

(単位：億円)

区分	平成21年度	平成20年度	増(△)減	前年同期比(%)
営業収益	629	815	△185	△22.8
高速道路事業	591	779	△187	△24.0
うち料金収入	535	※ (736) 728	(△200) △193	(△27.2) △26.5
関連事業	37	35	1	4.8
うち休憩所等事業	14	12	1	14.7
営業費用	620	796	△176	△22.1
高速道路事業	588	767	△178	△23.2
うち道路資産賃借料	358	537	△178	△33.2
関連事業	31	29	2	8.2
うち休憩所等事業	9	7	1	25.1
営業利益	9	19	△9	△52.1
高速道路事業	3	12	△9	△74.6
関連事業	5	6	△0.6	△10.0
うち休憩所等事業	4	4	△0.1	△3.1
経常利益	11	22	△10	△48.8
特別利益	3	1	1	135.5
特別損失	-	0.2	△0.2	皆減
当期純利益	7	14	△6	△46.0

※ ()書きは料金割引社会実験に伴う国からの負担金収入7億円を含めた額です。

高速道路事業と関連事業を合わせた全事業において、営業収益629億円に対し、営業費用620億円となり、営業利益は9億円となりました。これに営業外収益と営業外費用を加減した経常利益は11億円となり、特別利益3億円を加え法人税などを差し引いた当期純利益は7億円となりました。

連結貸借対照表

(単位：億円)

区 分	平成21年度	平成20年度	増(△)減
資 産	432	461	△ 28
流動資産	180	200	△ 20
固定資産	252	261	△ 8
負 債	295	331	△ 36
流動負債	84	109	△ 24
固定負債	210	221	△ 11
純資産	137	129	7
株主資本	137	129	7
資本金	40	40	-
資本剰余金	40	40	-
利益剰余金	57	49	7
(負債・純資産合計)	432	461	△ 28

資産の状況

資産の総額は432億円であり、このうち流動資産は180億円、固定資産は252億円となっています。

負債及び純資産の状況

負債の総額は295億円であり、このうち流動負債は84億円、固定負債は210億円となっています。

純資産の総額は137億円となっています。

今後の事業方針

高速道路事業

- 代替路線のない本四道路の安全性を高めるため、耐震補強工事を継続して実施してまいります。
- 海峡部長大橋の予防保全のため、適時適切な点検と補修を行ってまいります。
- 安全で快適な交通の確保のため交通管理に万全を尽くします。
- ETC設備等の充実、企画割引の活用、積極的な広報活動などにより、多くの方々に本四道路を利用していただけるよう努力してまいります。

関連事業

- 瀬戸内の自然・景観を満喫できる快適な空間の形成や、地元の産物を活かした食事・土産など、お客様に喜ばれるサービスの提供に努めます。
- 長大橋の建設、管理技術を活用した国内外の橋梁への維持管理等の技術支援を拡大してまいります。
- 平成22年度の事業計画において関連事業の当期純利益は、0.4億円を見込んでいます。

(参考)平成22年度業績予想

(単位：億円)

区 分	個別決算	(参考) 連結決算
営業収益	629	641
高速道路事業	605	605
うち料金収入	542	542
うち道路資産完成高	63	63
関連事業	24	36
うち休憩所等事業	4	14
営業利益	2	6
高速道路事業	1	1
関連事業	1	5
経常利益	1	6
当期純利益	0.4	4

※ 当期純利益は関連事業に係るもので、高速道路事業においては当期純利益を見込んでいません。